

## ワーケーションを軸に地域課題解決について官民一体で考える 「ワークスタイル研究会」のフォーラムを和歌山県で開催

～10月21・22日開催、地域体験やワークショップを通じてイノベーションを創出～



開催地域となる和歌山県

JALは、ワーケーションなどの新たなワークスタイル変革の推進と地域課題の解決を目的として、これまで各地域での多様なモニターツアーなどの取り組みを進めてきました。

このたび、和歌山県(県知事:岸本 周平氏)の協力の下、「ワークスタイル研究会」(\*1)の参加会員を対象に、日本の新しいワークスタイル・ワーケーションの推進について考えるフォーラム「WS Conference -kick off- in Wakayama」を10月21日(月)～10月22日(火)に和歌山県で実施します。10月21日(月)には、和歌山県の魅力に触れる体験プログラム(世界遺産・熊野古道の保全活動、地元食材を楽しむBBQなど)を予定し、10月22日(火)には、ワーキングスペース「office Cloud 9」にて、ワークショップを開催します。

(\*1)2022年2月21日付プレスリリース 第21117号『ワーケーションを軸に企業と自治体をつなぐ共創型コミュニティ「ワークスタイル研究会」を発足』  
URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202202/006540.html>

### ■WS Conference -kick off- in Wakayama 概要

1. 実施日程: 2024年10月21日(月)、10月22日(火)
2. 場 所: 和歌山県
3. 対 象 者: 「ワークスタイル研究会」参加企業・自治体
4. 内容(予定): ●オリエンテーション(和歌山ワーケーション・白浜町のご紹介)  
●フィールドワーク(世界遺産「熊野古道」保全活動・白浜自然体験)  
●交流会(フィッシャーマンズワーフ白浜でのBBQ)  
●現地視察(白浜町ITビジネスオフィス)  
●ワークショップ(グループワーク、和歌山県・地域事業者との意見交換)
5. 協力自治体・企業・団体: 和歌山県、株式会社南紀白浜エアポート

和歌山県は、ワーケーションを「価値創造ツール」と考え、非日常での活動を通じたイノベーション(Innovation)創出の機会、ならびに一人一人が自分自身と向き合い新たな自分と出会う場(Education/Motivation)を提供できるよう取り組みを進めてきました。

本フォーラムでは、地域コーディネーターによる講演からの学びや会員間交流、和歌山県でしか体験できないフィールドワークを通してワーケーションの魅力を再認識することで、社会におけるワーケーションのさらなる浸透に向けて機運を醸成します。また、2017年からワーケーション先進地域として関係人口創出を推進する和歌山県の取り組みに直接触れることができる機会でもあるため、同様の課題を抱える全国の自治体にとって、課題解決に向けて今後の取り組みのヒントが得られる機会となっています。



2023年11月北海道・富良野市で行われたカンファレンスの様子

JALは社会におけるワーケーションの浸透を加速させるため、2021年12月に、企業・自治体の皆さまと共に共創型コミュニティ「ワークスタイル研究会」を発足しました。

「ワークスタイル研究会」は、『ワーケーションを軸とした新しい働き方の普及・推進による「企業価値向上」・「地域活性化」およびSDGsの達成』をビジョンとして掲げ、企業・自治体双方の会員の皆さまと共にワーケーションを軸としたさまざまな取り組みを通じて、時間と場所に捉われない柔軟性のある働き方の推進と制度の定着を目的としたコミュニティです。

JALは、今後も「ワークスタイル研究会」の取り組みなどを通して、持続可能な新しい働き方の普及・推進に取り組むことで、社会の諸課題の解決に貢献してまいります。

以上